条幅規定参考手本　―6月末日締切―

〈隷書〉



吉田成美先生書

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉



小畠秋聲先生書

□野鶴鶏群（やかくけいぐん）に在り（世説新語）

次号予告「白玉飛泉千仞雪　青松蔽日一林風」

〈行　書〉



清原大龍先生書

▽衆中（しゅうちゅう）で一人ぬきんでていること。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



舟尾圭碩先生書

□あ佐本（さほ）ら遣（け）　宇治の可者（かは）きり　たえ多盈耳（たえに）　あら者（は）れ王多流（わたる）　せゝのあしろ支（き）

〈百人一首　六十四〉

朝ほらけ　宇治の川霧　たえたえに　あらはれわたる　瀬々の網代木

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）



井之上　南岳先生臨

▽温泉銘

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

嶺際抗殿巖陰柱穿流腹砌裂泉心

吉田成堂先生書



□金子鷗亭の句　雲海は　蒼茫（そうぼう）たりや　月一輪

≪手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折½横のみ）　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

≪手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫



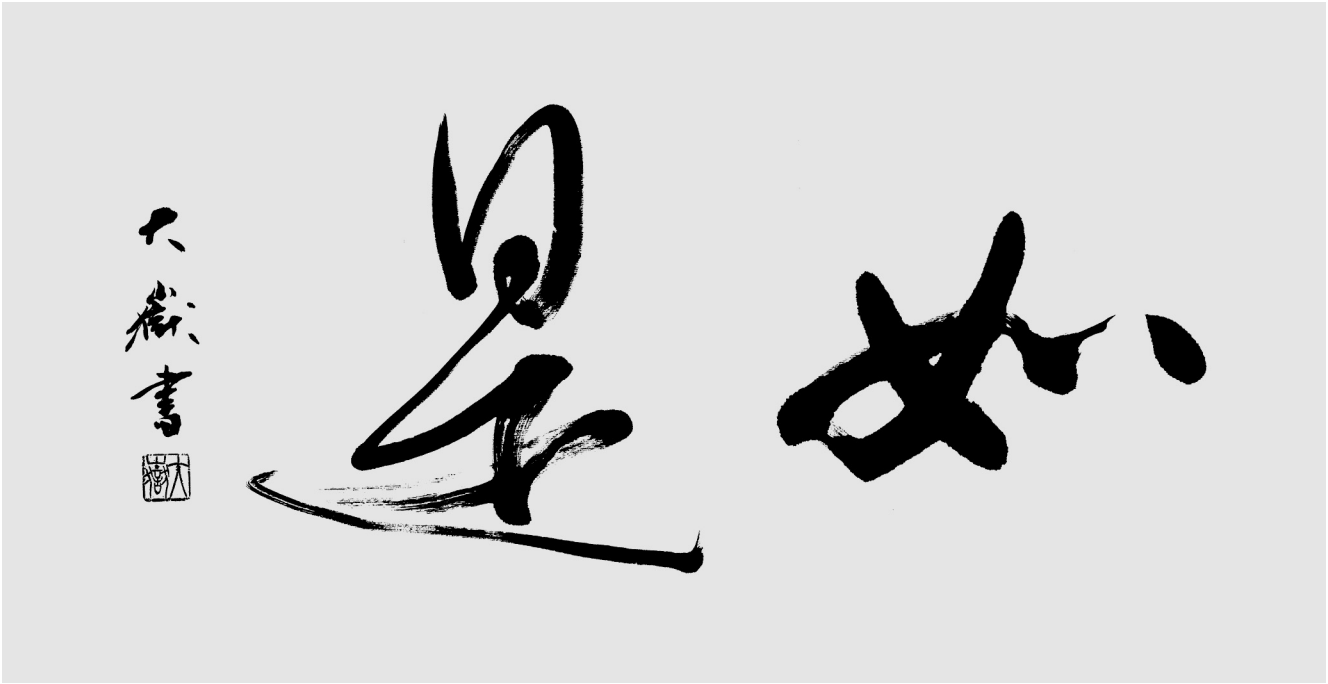
□「風紋」

麻生 久の詩

砂に指紋を残していった
誰もが風の仕業と思うだろう
だが誰も風の告白を聞いたことはない

自然な行の展開を砂のようなやわらかいイメージで、さらりと書いてみました。多彩な発想の作品を期待します。

山　本　飛　雲　先　生



□「如是（にょぜ）」

かくのごとし
（孟子・梁上）

〝如字〟は墨量たっぷりにゆっくりと運筆、〝是字〟は軽やかに大きく運腕して下さい。

渡　邉　大　嶽　先　生

※半折½横の出品票は作品の左下に貼って提出下さい。

半紙規定参考手本　　―6月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□幾（き）を知るは其（そ）れ神（しん）か（易経）
物事の起こる前兆を察知して、機敏に対処するのは神業であろう。

吉　田　成　美　先　生　書

次号予告「微雲淡河漢」

半紙規定参考手本　　―6月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□幾（き）を知るは其（そ）れ神（しん）か（易経）
物事の起こる前兆を察知して、機敏に対処するのは神業であろう。

吉　田　成　美　先　生　書

次号予告「微雲淡河漢」

半紙随意参考手本　　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

□脩景（しゅうえい）（晋・潘岳）
夏の長い日ざし。

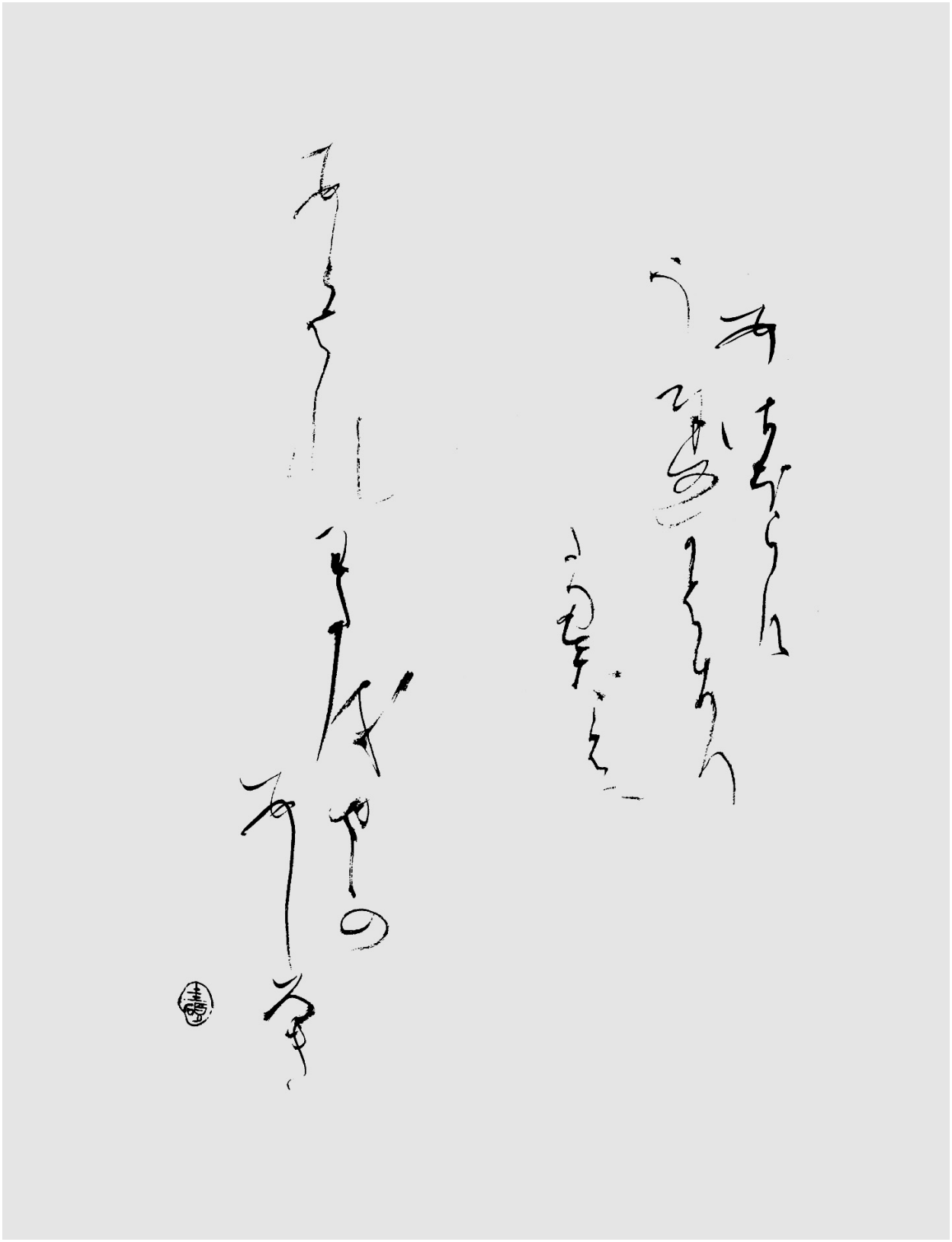


次号予告「獨見之明」

廣瀬蘇水先生書

半紙随意参考手本　　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



〈仮名〉

朝ほらけ　宇治の川霧　たえたえに　あらはれわたる　瀬々の網代木

□

あ佐本ら介　う遅の可者支り　多盈たえ二　あら者れ王多流　せゝのあしろき

舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



大　竹　美　喜　先　生　書

〈詩文書〉

鳴戸奈菜の句　桐の花　永遠がふと　雨宿り（あまやど）

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。（ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください）

半紙随意（臨書）参考手本　　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）



「其神靡覿」

〈臨書〉多墨で重厚な深みのある線で、気宇雄大さを意識して書こう。

吉田成美先生臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



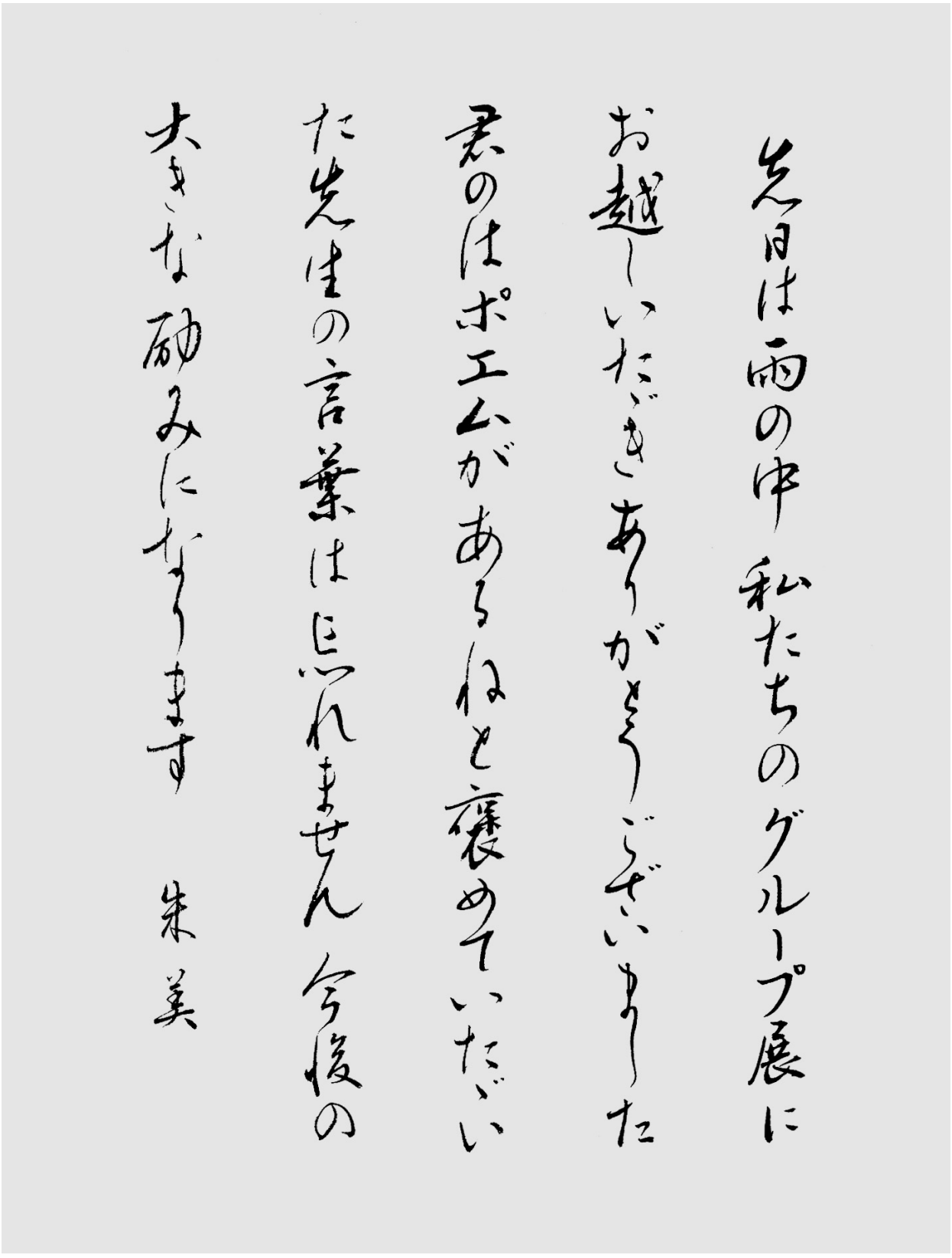
〈実用書〉

鈴木　瀬口　曽我
手塚　戸崎　高橋
中山　西嶋　千原
沼田　猫田　津川

兵　頭　白　慧　先　生　書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



〈手紙文〉

先日は雨の中　私たちのグループ展にお越しいただきありがとうございました　君のはポエムがあるねと褒めていただいた先生の言葉は忘れません　今後の大きな励みになります　朱美

伊良子　喜代　先生書

一般硬筆部参考手本＜B＞ ―6月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

書譜

夏が近づいてまいりました。皆様方にはお元気でお過ごしのことと存じます。

このたび、この数年間自由気ままに世界中を旅して、撮りためた写真を集め、写真展を開くことになりました。

是非とも多くの方にご覧いただきたく、誠に勝手ながら案内状を同封させていただきました。

会場でお会いできたらと思います。

〈暮らしに役立つ書〉

罫のある便箋に書いてみよう。〈26cm×18cm〉紙質は自由。

- どうして手紙を書かなくなった？書かなくなったのではなく、若い人達の中では、最初からメールのやり取りで書いたことがないが正解でしょう。確かにメールは、すぐに相手に伝えられるという利点もありますが、肉筆の良いところは、文章を書きながら、また手元につく頃まで、相手のことを思えるところです。いつまでも保管しておけるところも利点です。ゆえに、日頃からこうして慣れておくのは必要ですね。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小畠秋聲先生書

学生部条幅¼ 参考手本　—6月末日締切—



ようねん・小学1年　小学2年　小学3年　小学4年

小学5年　小学6年　中学1年　中学2・3年

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

坂元紫香先生書

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

学生部規定手本　—6月末日締切—

ようねん・小学一年



□「か」は三画目の位置に、「ぜ」は二画目と三画目の高さのちがいに気をつけましょう。

次号予告「そ　ら」

小学二年



□「ほ」や「る」のむすびは、筆だけをまわさずに腕全体で、ていねいに書きましょう。

次号予告「ひまわり」

坂元紫香先生書

小学三年



□〝左の払い〟〝おれ〟〝はね〟の筆のまとめ方に注意しながら、紙の真ん中に配置しましょう。

次号予告「木　」

小学四年



□「白」は線の強弱をはっきりとつけや、小さめに、「雲」は逆の台形を意識して書こう。

次号予告「大　地」

吉田成美先生書

学生部規定手本

―6月末日締切―

小学五年



□字形はたて長にし、たて線を長く伸びやかに。「間」の中の〝日〟は、やゝ小さめに。

次号予告「平　和」

小学六年



□「街」は三つの部分の高さに注意して。「路」は〝扁〟と〝旁〟のバランスに気をつけて。

次号予告「祭　典」

秋永春霞先生書

中学一年



□点画の接し方や線の方向、省略、連続などに注意し、流れのある自然な書体で書こう。

次号予告「白　夜」（行書）

中学二・三年



□点画の連続や筆順の変化など行書の特徴を理解して書こう。

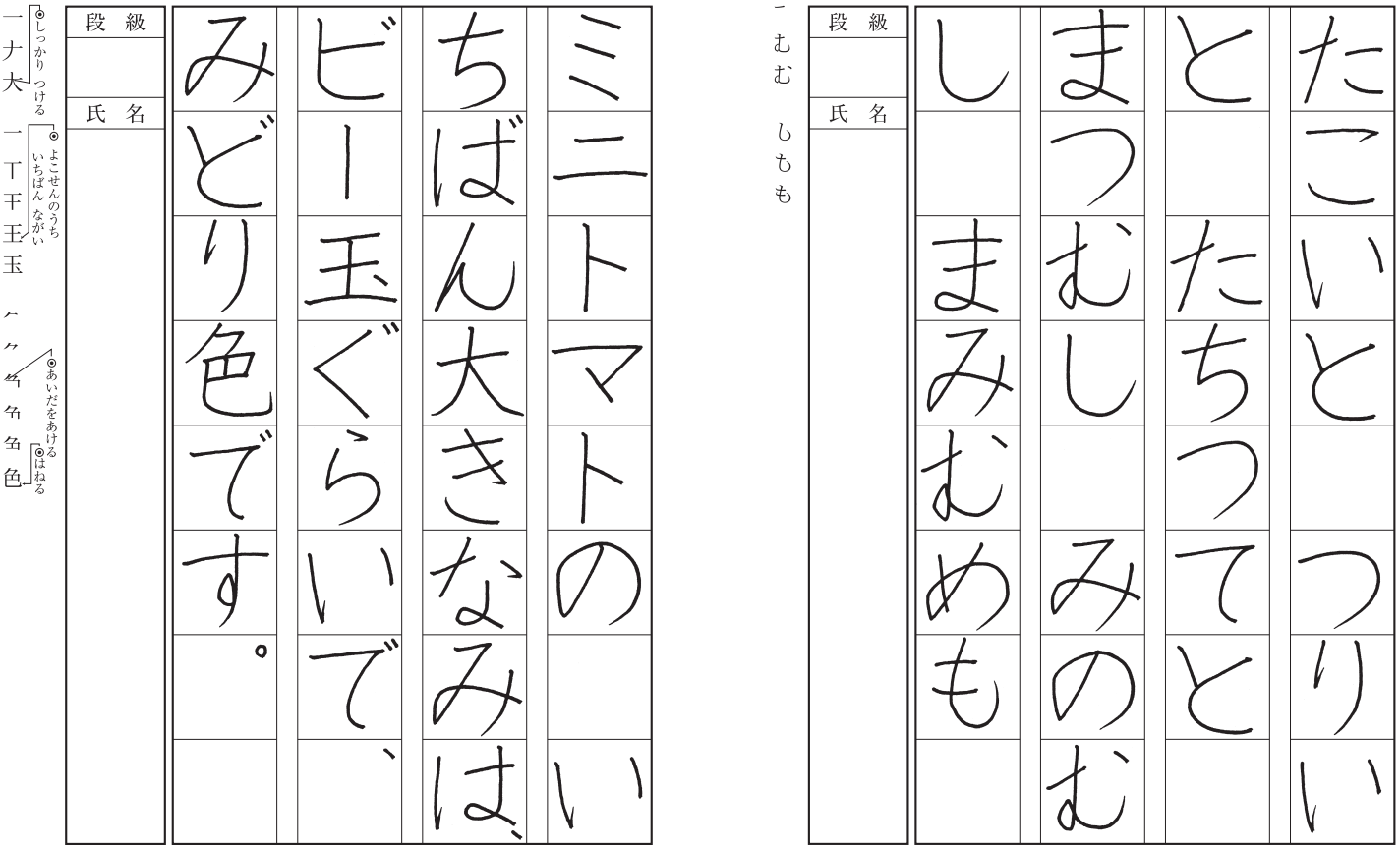
次号予告「あかね雲」（行書）

吉田成美先生書

硬筆部規定手本

―6月末日締切―

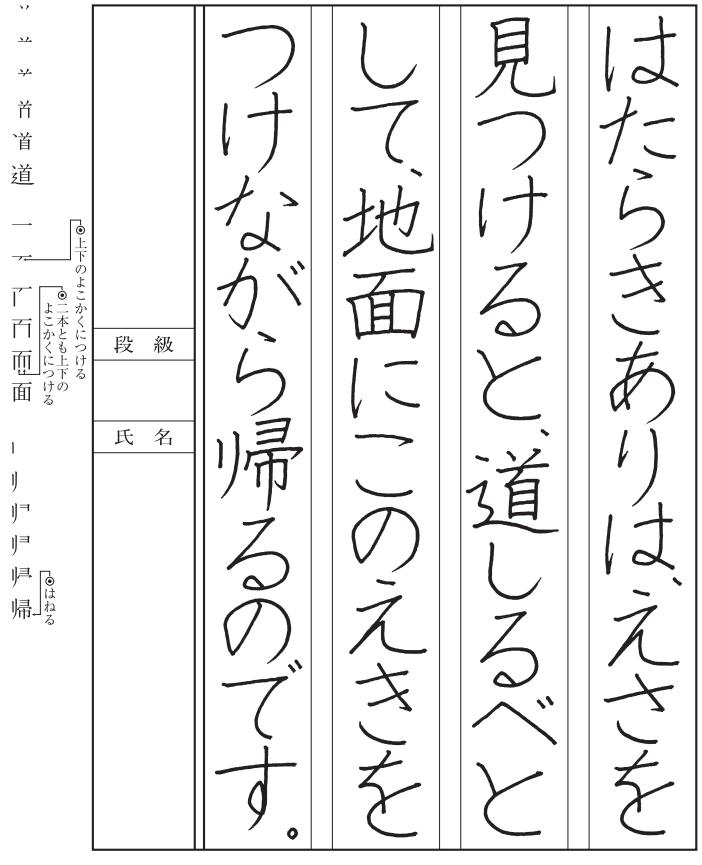
ようねん・小学一年



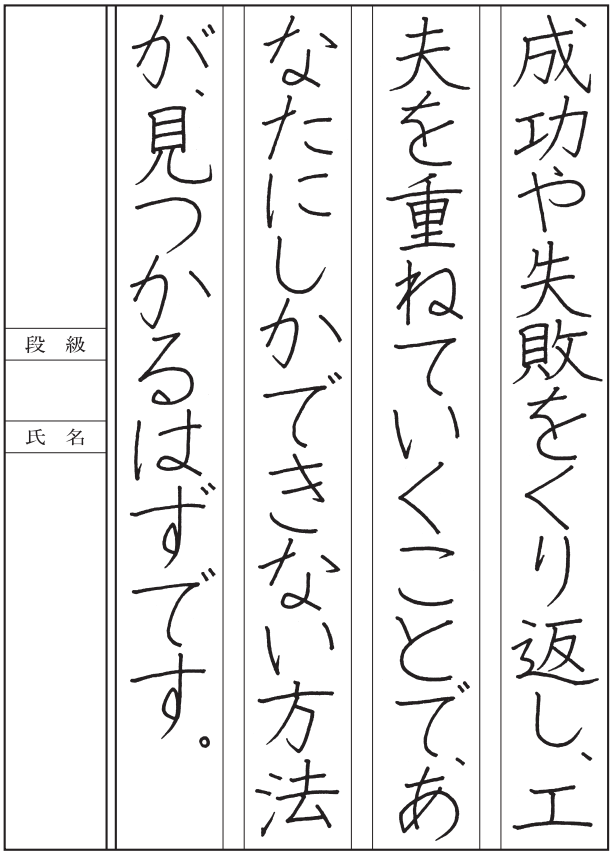
小学二年

坂元紫香先生書

小学三年



小学四年

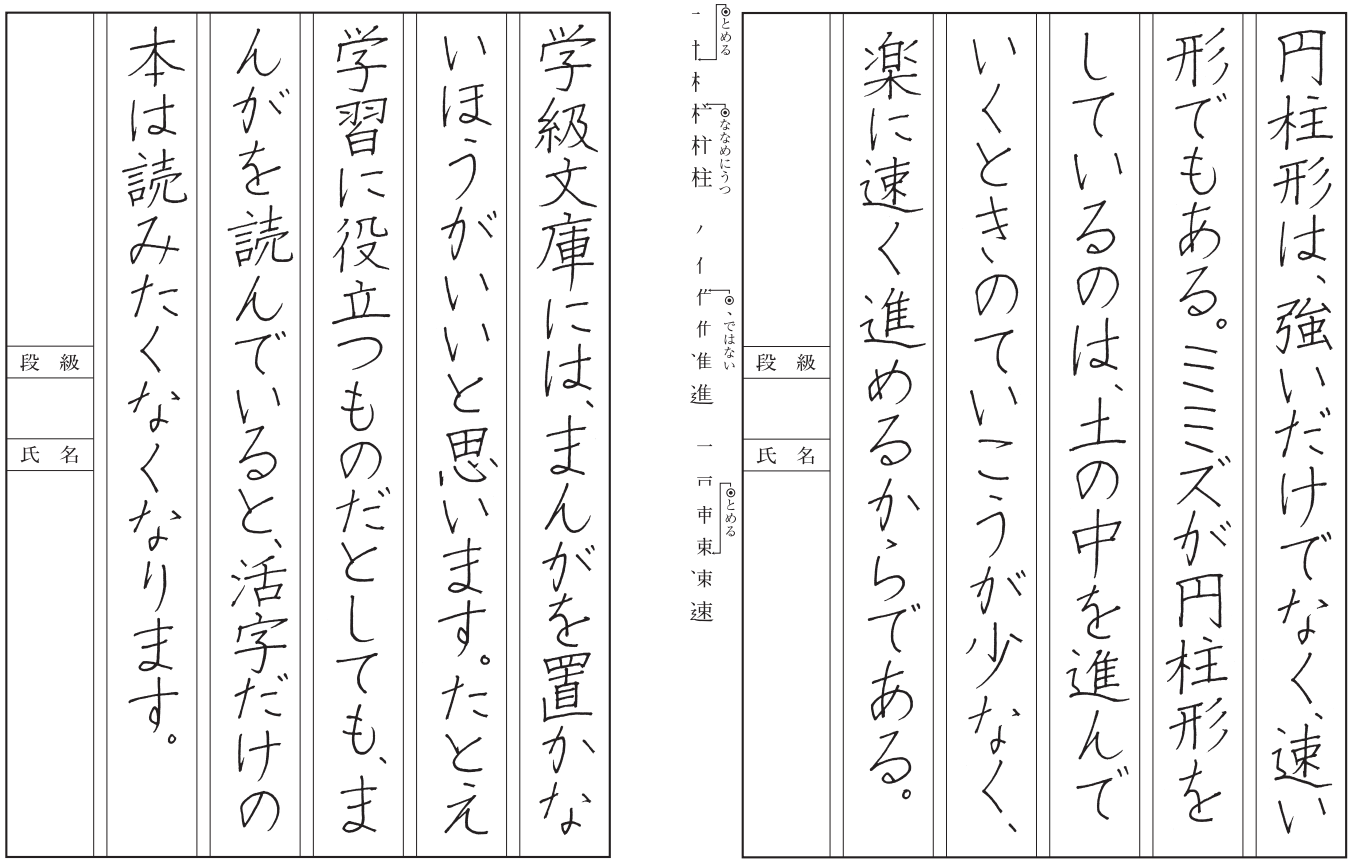


坂元紫香先生書

硬筆部規定手本

―6月末日締切―

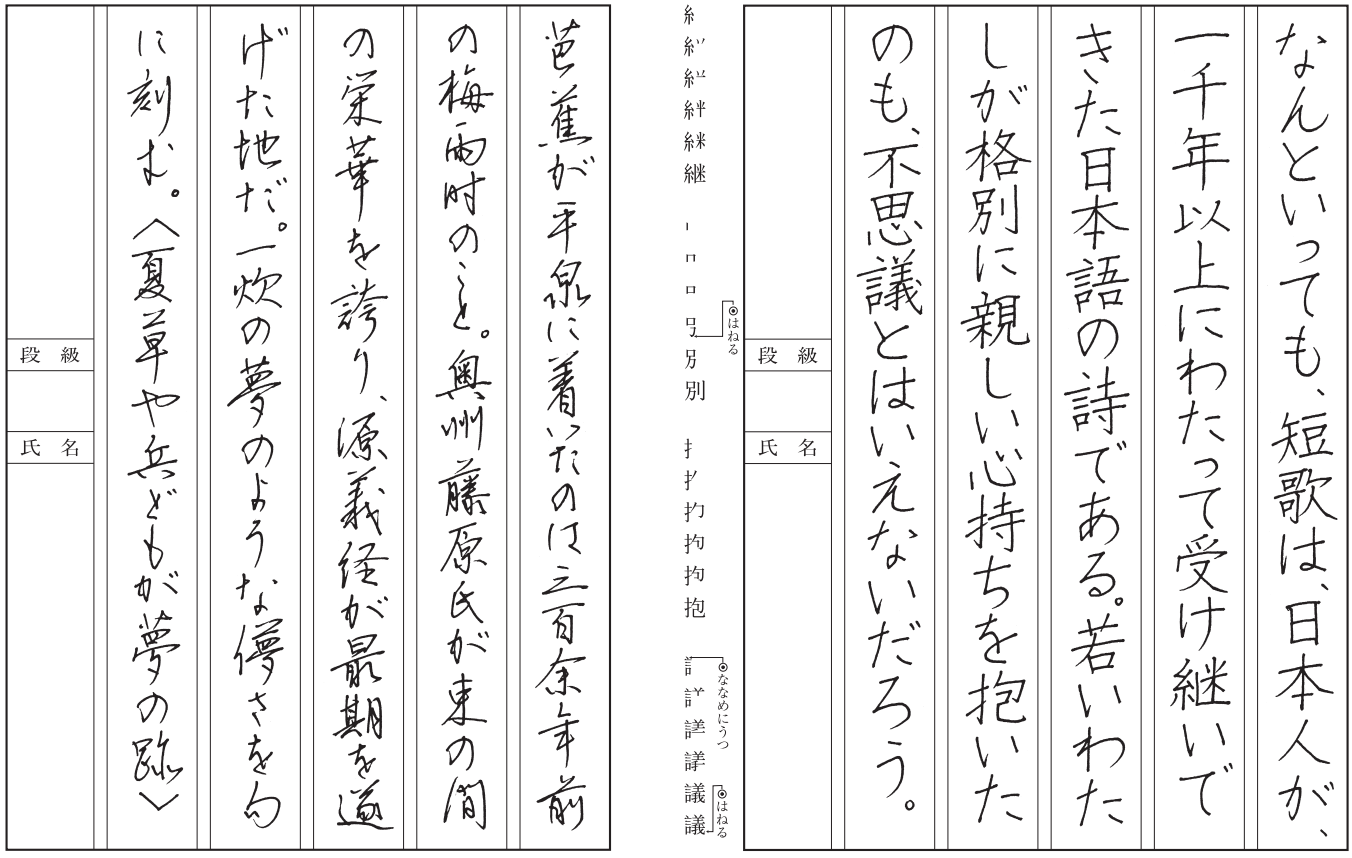
小学五年



小学六年

小畠秋聲先生書

中学



一般（A）

（この課題はA・Bいずれか一点のみとする）

※142%拡大で原寸大になります。

小畠秋聲先生書